



Hata's デンタルクリニック

お口に健康を、
心に笑いを



忙しい毎日、自分の体、特にお口の中のケア、できていますか？
大阪府堺市で歯科医院を経営している畑崎先生が、
先生方の健康に役立つ情報をお届けいたします。

第5回

「歯のけが」と学校での対応

今回は、体育の授業中や休み時間などに不慮のアクシデントで発生する「歯のけが」と、学校での対応についてお話しします。

年に数回、受付から「〇〇小学校から、△△君が友達の頭とぶつかって『歯が痛い』』と言っているの、今から来院するとお電話がありました」という報告を受けます。子どもが到着するまでドキドキする瞬間です。

学校内で起こりやすい「歯のけが」を挙げます。

- ① 打撲（打ちつけて痛いだけ）
 - ② 亜脱臼（歯自体は大丈夫だが、グラグラしている）
 - ③ 歯冠破折（歯の一部が大小関わらず欠けている）
 - ④ 埋入（歯が陥没して歯茎に埋まっている）
 - ⑤ 完全脱臼（歯が根っこごと抜けている）
- ①②の打撲と亜脱臼は、歯を動かないように固定できれば救えます。
- ③の歯冠破折の場合、欠けた部分に詰め物をするだけで済む場合と、歯の神経を抜かざるを得ない場合があります。



- ⑤の完全脱臼の場合は、できるだけ早くその歯を戻せば、救うことができます。その場合、抜けた歯を生理食塩水に入れてお持ちください。なければ牛乳やお水でもいいので、歯が乾かない状態にします。ティッシュに包んだりするのは、絶対にやめてください。けがをした歯がどの状態にあるのかは、レントゲンなどで調べないとわかりません。
- ③④⑤の歯冠破折、埋入や完全脱臼は、事故が起こってから処置までの時間で、その歯の予後がかなり変わってきますので、できるだけ早く歯科医院を受診してください。